

令和3年度

丹波篠山の教育

概要版



タブレットを使って幼稚園児に小学校を紹介(岡野小)

教育理念

「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」

～子どもが自ら学び、地域とともにある学校づくり～

～学びの機会を充実し、生き生きと活躍できるまちづくり～

共有する道しるべ

- 一.「おはよう！」 人より先にあいさつをしよう
- 一.「ありがとう」 感謝の気持ちをもとう
- 一.「どうしたの？」 気づきを大切にしよう
- 一.「ちょっとまって！」 勇気をもって行動しよう
- 一.「ごめんなさい」 素直に謝る心をもとう

施策の基本方向1 子どもの根っこを育てる乳幼児教育の推進

1-1 “子育ていちばん”に向けて

○就学前の保育環境の整備 拡充

篠山幼稚園児、たまみず幼稚園児及び岡野幼稚園児を対象にした預かり保育施設(こどものおしろ)を開設しました。



こどものおしろ開所式

1-2 子どもの根っこを育てる環境づくり

○ふた葉プロジェクトの推進 継続

「朝日とともに目覚め、四季を感じながら、夢中になって遊ぶ、ささやまっ子」をめざし、乳幼児期の「眠育」「食育」「あそび」を総合的に推進する「ふた葉プロジェクト」を展開し、家庭と連携した子育て環境の確立に引き続き取り組みます。

1-3 乳幼児教育の充実

○幼児教育の推進 継続

丹波篠山ならではの自然を最大限に生かせるような保育・教育環境を整えます。また、高い自己肯定感を持ち、他者を大切にできる園児を育てるために、職員の研修充実を図り、資質向上に努めます。

○子どもの体幹を鍛える取組 継続

全ての保育園・幼稚園・こども園において、体幹づくりを意識した保育を実施し、動きやすい体・転びにくい体の形成を図ります。



体幹づくり体操(八上幼)

○諸感覚を発達させる保育・教育活動 継続

諸感覚(触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚)の中でも最も原始的な感覚である触覚の発達に向け、粘土遊び、水遊び、砂遊び、泥遊び等を全ての保育園・幼稚園・こども園において実施します。



竹で水遊び(大山幼)

1-4 子ども・子育て支援の体制づくり

○病児保育事業の実施 継続

病気時及び病気回復期の子どもを預かり、保護者の就労支援及び子育て支援を図ります。

○放課後児童健全育成事業の充実 継続

小学校の授業終了後に保護者の就労等により保育を受けることができない児童を対象に、安全・安心できる生活の場を提供し、仲間づくりや生活指導を行います。

○幼稚園預かり保育の充実 継続

幼稚園教育課程に係る教育時間終了後等に、保護者の就労等により長時間保育が必要な園児を対象に預かり保育を行います。

施策の基本方向2 生きる力を培い創造性を伸ばす教育の推進

2-1 確かな学力の確立

○主体的な学習習慣の育成 継続

主体的な学習習慣の育成を目指して、全学校で、家庭と連携した取組の工夫・改善を図り、朝学習、放課後学習等を充実します。また、児童生徒が、一人一台パソコンの学習環境や、学習プリント配信システム、タブレットドリル等を活用し、「自ら学ぶ」学習に取り組める環境整備を行います。



異学年でノートを取り方を交流(大山小)



グループ内での意見交流を通して学びを深める(城北畑小)

○読書活動の充実 継続

学校図書館支援員を配置し、読書活動の充実と読書環境の整備を行います。また、学校と中央図書館との連携を深めつつ、読書意欲を高め、活用しやすい図書館、読書活動の充実を図ります。

○情報活用能力の推進 拡充

一人一台パソコンを活用し、多様性のある学習環境や個に応じた指導など、児童生徒の学びの質の向上を図ります。



星座アプリを活用し、星の動きを確認(西紀中)

○外国語教育の充実 継続

外国語指導助手(ALT)や小学校外国語学習指導補助員(JTE)との外国語を用いたふれあいや対話を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。長期休業中には小学生を対象としたイングリッシュ・デイ・キャンプ等を実施し、児童が様々な活動を通してALTや市内小学校からの参加児童と英語を使って交流することにより、コミュニケーション能力の向上を図ります。



読み聞かせ会(八上小)



ALTとの授業(味間小)

2-2 豊かな心の育成

○道徳教育の充実 継続

道徳科における指導の充実を図り、児童生徒の社会性や規範意識、思いやりの心などの育成及びふるさとへの誇りや愛着など「ふるさと意識」の醸成を図ります。また、発達段階に応じ、各教科等や体験活動との関連及び地域や家庭の実態を考慮した指導を行います。



道徳の授業における集団思考(篠山東中)

○学校における人権教育の充実 継続

全ての教育活動を人権教育の視点で捉え、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる態度や資質を育成します。また、いじめ、インターネットによる人権侵害、コロナウイルス感染症にかかる人権侵害等、今日的な人権課題も含め、人権に関わる様々な課題について考える機会を設け、児童生徒の人権意識を高めます。

○帰国・外国人児童生徒園児支援事業の充実 拡充

NPO法人篠山国際理解センターと連携し、母語支援・日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒及び4・5歳児に対して、母語通訳・翻訳支援員及び日本語指導員を派遣し、個々の実態に応じた支援を展開します。

○デジタル・シティズンシップ教育や研修の充実 継続

GIGAスクール構想の時代において、「オンライン及びICTの利活用を前提」とし、子どもたちが、そのリスクを理解し、安心安全に利用しながら可能性を広げられるように、デジタル時代の市民として生きる力の育成を目指します。そのために、デジタル・シティズンシップ教育(積極的な情報通信機器の利用を踏まえた「情報技術の利用における適切で責任ある行動規範」を身につける教育)について、学ぶ研修の場を設けます。

○環境教育の実践 継続

発達段階に応じて、地域の人材・施設を活用したり、自然や風土を活かした学習素材を活用したりし、直接体験を通して、地域の特性を踏まえた環境教育を推進します。



エコバッグづくり(古市小)



稲刈り体験(西紀小)



自然学校での磯観察(西紀南小)

○トライやる・ウィーク、「トライやる」アクションの充実 継続

学校・家庭・地域の連携のもと、地域の中で行う社会体験活動を通して「生きる力」を身につける「トライやる・ウィーク」、中学生が様々な地域活動の体験を通して、地域の人々の温かさ、良さや伝統・文化等にふれるとともに、地域のつながりを深化させ、ふるさと意識の醸成を図る「トライやる」アクションに取り組みます。



職場体験(篠山養護学校)

○あいさつの実践 **継続**

学校・家庭・地域が連携した啓発・実践活動に継続して取り組み、日頃からあいさつが交わせる、明るく温かいまちづくり、学校づくりをめざします。



保護者と教職員による
あいさつ運動(篠山中)



デカンショのど自慢大会
への出場(篠山小)

○ボランティア(地域貢献)活動の推進 **継続**

地域のお祭りに参加するなど、ふるさと教育や兵庫型「体験教育」等の体験活動を通して、様々なボランティア(地域貢献)活動への積極的参加を推進します。

2-3 健やかな体の育成

○体力・運動能力調査の実施 **継続**

児童生徒の体力・運動能力の実態と傾向の把握や分析を行い、体力・運動能力の向上に向けて児童生徒が主体的に取り組めるよう、計画的・継続的に実践する取組を推進します。

○部活動の充実 **拡充**

部活動にかかる業務や生徒の心のケアを行い、充実した部活動を推進するために、令和3年度から「部活動推進員」を中学校に配置します。また、専門的な知識と技能を有し、スポーツ、音楽、美術等における活動の楽しさや段階的な指導ができる地域の指導者の「部活動支援員」、技術指導に加え試合や大会などを単独で引率できる「部活動指導員」も引き続き任用し、部活動の充実と教職員の負担軽減を図ります。



栄養教諭による授業(城東小)



部活動指導員による指導
(丹南中)

2-4 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

○キャリア教育の推進 **継続**

社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育むキャリア教育を教育活動全体を通して取り組みます。その実現に向けて保護者や地域の人々、関係機関等と連携して、自然体験や社会体験などの機会を設け、中学2年生とその保護者を対象に、自らの生き方や将来について考える事業「夢プラン」を実施するなどします。



夢プランで発表する生徒たち

○小中連携心のサポート事業の実施 **継続**

小中合同事業を開催し、9年間の育ちと学びの連続性を踏まえ、児童生徒の心理的な安定や学力向上を図ることを基本とした小中連携のあり方について実践的な研究を行います。

2-5 特別支援教育の充実

○早期発達支援室の運営 **継続**

発達障害及び知的障害のある幼児に対し、適切な早期支援を行うための個別発達支援、交流及び共同学習を通じた発達支援を行う早期発達支援室を運営し、個々の成長及び円滑な就学期への移行を促していきます。

○校内外体制の整備及び広域的・有機的なネットワーク形成 **継続**

特別支援教育に係る校内外委員会を設置し、個に応じた指導・支援の充実をめざし、子どもが必要とする支援に応じた環境整備の推進を図ります。

○障がいのある子どもたちへの合理的配慮の提供 **継続**

障がいのある子どもたちに対して合理的配慮を適切に提供します。そのために必要となる教職員等を対象とした研修会の実施及び基礎的環境整備について推進します。



特別支援学級での黒豆づくり
(城南小)

施策の基本方向3 子どもの学びを支える環境づくりの推進

3-1 安全安心で質の高い学習環境の整備

○地域に信頼される安全で安心な学校園づくり **継続**

安全管理、安全教育、組織活動を通して未然防止、救急対応に係る校内体制を充実し、安全で安心な学校園づくりを更に進めます。

○学校施設の充実 **継続**

安全な環境の中で、安心して学校生活を送れるよう、老朽化の進む学校施設の改修を計画的に実施します。

○丹波篠山産木材を活用した教育環境づくり **拡充**

全小学校の新1年生を対象に丹波篠山産木材を使用した机・椅子を引き続き導入します。また令和3年度からは計画的に丹波篠山産木材の園児椅子を全幼稚園に導入します。

○GIGAスクール構想における学びの充実 **新規**

「GIGAスクール構想の実現」を踏まえ、その着実な実施に向けて、児童生徒一人一台パソコンの環境におけるICTの効果的な活用を一層推進します。



引き渡し訓練(西紀北小)



市内産木材の園児椅子

3-2 地域とともにある学校づくり

○コミュニティ・スクールの推進 **継続**

学校運営に関して、保護者及び地域住民の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等が一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組みます。

○青少年育成に係るインターネット社会への対応 **継続**

インターネットを活用した学習などの普及・活用が進んでいるなかで、青少年が適切に利用できるよう、保護者などの大人も含め適切な利用方法の啓発活動などを行い、青少年を見守ることのできる環境をめざします。

○放課後子ども教室の開催 **継続**

放課後や休日に小学校等の施設を活用し、地域住民の参画を得て、遊びやスポーツを通して地域で子どもを育みます。令和3年度は、岡野、城東、西紀、味間で取り組みます。

○「通学合宿」の実施、「トライしようDAY」の実施 **拡充**

小学生から高校生までの児童生徒が公民館等で集団生活を送りながら通学し、もらい風呂や交流活動を取り入れる「通学合宿」、また、小学生が主体的に地域で実施される行事や奉仕活動、学習活動等に参加する「トライしようDAY」など、地域の教育力を活かした事業を進めます。



地域の方から日本六古窯を
学ぶ(今田小)

3-3 家庭の教育力の向上

○家庭教育支援事業の実施 **継続**

子育てをする親が、必要な知識を学び、ともに助け合い、仲間づくりができるよう、親子の絆プログラム「赤ちゃんがきた!」及び「きょうだいが生まれた!」の講座を開催します。



赤ちゃんがきた!

3-4 教職員の資質能力の向上

○いじめの防止等への的確な対応 **継続**

いじめは、「どの子どもにも、どの学校にも起こり得る」ことを踏まえ、学校、家庭、地域が一体となって、未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。



スクールカウンセラーによる
道徳授業(今田中)

○教職員の勤務時間適正化及び業務の効率化の推進 **拡充**

教職員が心身ともに健康を保ちながら、児童生徒一人一人と向き合える働きやすい職場づくりを進めるため、教職員の業務の効率化と業務負担の軽減を図り、勤務時間の適正化を進めます。令和3年度から、学校閉庁日を8月10日から8月15日までの6日間に拡大します。

○丹波篠山市教育研究所の取組 **継続**

丹波篠山市における学校園教育の一層の充実を図るため、教育関係職員の成長と子どもたちの資質・能力の育成を基盤とした教育活動を展開できるよう研修と調査・研究を推進します。

3-5 保幼小中高大の連携

○保幼小連携の強化 **継続**

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続をめざし、地域や各園の実情に応じたアプローチカリキュラムを活用した、幼稚園・こども園、小学校の連携充実を図ります。また、私立園も含め、保育園・幼稚園・こども園の指導方法等について連携を強化します。



幼小合同運動会(古市小・幼)

○中高連携の推進 **継続**

中学生が、学びたい学校を選択する際の一助となる「オープン・ハイスクール」に積極的に参加するなど、進路指導の充実を図ります。

施策の基本方向4 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

4-1 主体的に生きるための学びと場の充実

○「図書館ビジョン」による図書館運営 **継続**

「図書館ビジョン」に基づき、あらゆる世代に応じた図書館事業をボランティア等との協働によって推進します。令和3年度は、「新図書館ビジョン」策定に取り組みます。

○市民センター図書コーナーと配本所の運営の充実 **拡充**

市民センター図書コーナーに常時市職員を配置し、中央図書館と同等の図書館サービスを提供します。また、市内6カ所の配本所や出張図書館サービスを充実させ、図書館利用の活性化を図ります。

○障がい者社会学級の運営支援 **継続**

兵庫県が進める「くすの木学級(聴覚・言語障がい)」「青い鳥学級(視覚障がい)」は、障がい者が社会参加する貴重な機会となるため、継続的に事業運営を支援します。

○外国人住民に対する学習支援 **継続**

国際理解教育プログラムの提供、日本語教室うりぼう・学習支援教室うりぼうくらの開催に取り組み、受講者に応じた学習支援を継続的にを行います。

○丹波篠山市高齢者大学の充実 **継続**

高齢者一人一人の生きがいづくりの場を提供するとともに、受講生の意見を反映させ、魅力ある講座を開設します。また、高齢者大学全学園と小学生などが交流できる環境づくり、機会づくりを進めます。

○丹波篠山映像祭2022の実施 **継続**

映像コンテストと参加・体験型イベントによる映像祭を開催し、映像を通して、日常の中にある豊かさに気づき、生きる力、人のつながり、心の豊かさを育みます。

○丹波篠山市史編さん事業 **継続**

令和10年度的全編刊行を目的に神戸大学等と連携し、計画的な市史編さん作業を進めます。



丹波くすの木学級
風船バレー体験

4-2 スポーツの推進

○第42回丹波篠山ABCマラソンの開催 **継続**

安全安心で魅力ある大会となるよう関係機関との連携を図るとともに、市民ボランティアスタッフを広く呼びかけ、市民参画による大会運営を通して、活力あるまちづくりを進めます。

○TAMBASAYAMAライジングスター育成事業の推進 **継続**

2021年開催の東京オリンピック・パラリンピックを契機に、市民のスポーツ活動に対する機運を高め、将来を担う子どもたちがトップアスリートとふれあう機会の創出、生涯スポーツ社会の実現をめざします。



ライジングスター育成事業

○東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業の開催 **新規**

5月24日に聖火リレーが丹波篠山市に到着し、セレブレーションを開催します。オリンピックでは、バハマのホストタウンとして、パラリンピックでは、プエルトリコ、チャイニーズ・タイペイのホストタウンとして、食、文化、スポーツ等の交流を通して外国との相互理解を深めるとともに、地域活性化に繋がります。

4-3 文化財と町並みの保存と活用

○文化財保存活用地域計画の実施 **拡充**

「歴史文化まちづくり資産」を総合的に保存・活用するため、「文化財保存活用地域計画」を国へ認定申請し、計画に基づいた歴史文化を活かした地域づくりを推進します。

○国史跡の環境整備 **拡充**

史跡篠山城跡高石垣の修理を計画的に推進するとともに、石垣付近の草木伐採や草刈りなどを行います。また、史跡八上城跡の整備基本計画を策定し、整備に向けての準備を地域住民と進めます。



修理を進めている二の丸南西の高石垣(篠山城跡)

○篠山地区と福住地区における町並みの保存と活用 **拡充**

重要伝統的建造物群保存地区内の環境整備と歴史的風致の向上を、保存地区住民と連携して取り組みます。

4-4 文化・芸術の振興

○丹波篠山市立文化施設4館運営の充実 **継続**

文化施設4館(篠山城大書院、歴史美術館、青山歴史村、武家屋敷安間家史料館)において、丹波篠山の歴史文化の発信を継続します。

○田園交響ホール主催事業の実施 **継続**

子どもから大人まで誰もが楽しめる魅力ある公演を実施し、心豊かな生活を支援します。「キュウソネコカミコンサート」、「石川さゆりコンサート」、「瀧川鯉昇・鯉斗落語競演会」、「狂言～野村万作・萬斎の世界～」、「丹波篠山市民ミュージカル第10弾」などホール主催事業11公演を開催します。



丹波篠山市民ミュージカル
第9弾

4-5 自然遺産に学ぶ教育の充実

○脊椎動物化石保護・活用事業 **継続**

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想に基づき、化石発掘体験イベントや全小学校を対象とした校外学習プログラムを実施し、篠山層群及び脊椎動物化石の保護・活用を推進します。また、宮田の重点保護区域において調査を行い、市民を対象に体験学習の場として活用を推進します。



市民ボランティアによる岩石
調査(宮田重点保護区域)

施策の基本方向5 郷土を愛し誇りに思う人材育成の推進

5-1 ふるさと丹波篠山を愛する心の育成

○郷土を知る取組 **継続**

小学生が丹波篠山市の歴史、生物、生活や特産などを学習する際の教材として、小学校社会科補助教材「わたしたちの丹波篠山市」、ふるさと学習教材「丹波篠山ふるさとガイドブック」を活用し、地域学習の取組を充実させます。また、各校の地域素材を活かした「ふるさと教育年間計画」に基づき、地域の人々とのふれあいを通して、児童生徒が名所旧跡、自然、産業、食文化などを学び、ふるさとへの誇りと愛着心を育みます。

○古文書講座の実施 **拡充**

郷土に伝わる古文書に親しみながら丹波篠山の歴史を学びます。新たに古文書講座中級編を開講し、地域の古文書を活かす人材を育成します。

○郷土味学(みがく)講座の実施 **継続**

郷土料理レシピ集「よろしゅうおあがり」・「よろしゅうおあがりⅡ」を活用し、丹波篠山の食材を使い、郷土料理(郷土食)や新しい食文化を伝承・創造する人材を育成します。

5-2 学校給食の充実と食育の推進

○丹波篠山産コシヒカリ・地元食材を活用した学校給食の充実 **継続**

地元で生産された安全・安心な丹波篠山産コシヒカリを100%使用し、地元の野菜を積極的に活用することで、食材への慈しみや生産者への感謝の気持ち、ふるさとを愛し誇りに思う心を育みます。



全国学校給食甲子園入賞献立

○丹波篠山らしい特色ある献立づくりの充実・食育推進活動の充実 **継続**

学校給食センターと学校・家庭・地域とが連携して食育の推進に取り組みます。全国学校給食甲子園での献立部門2年連続入賞は、農都・丹波篠山を全国にアピールすることができました。これからも日本一の給食献立を維持できるように努めるとともに、学校給食レシピ本を刊行し、地元特産物とともにアピールしていきます。



食育授業風景(多紀小)



令和3年度 丹波篠山の教育 (概要版)

発行 丹波篠山市教育委員会 (兵庫県丹波篠山市北新町 41)

問い合わせ 丹波篠山市教育委員会教育総務課 (TEL 079-552-5709)